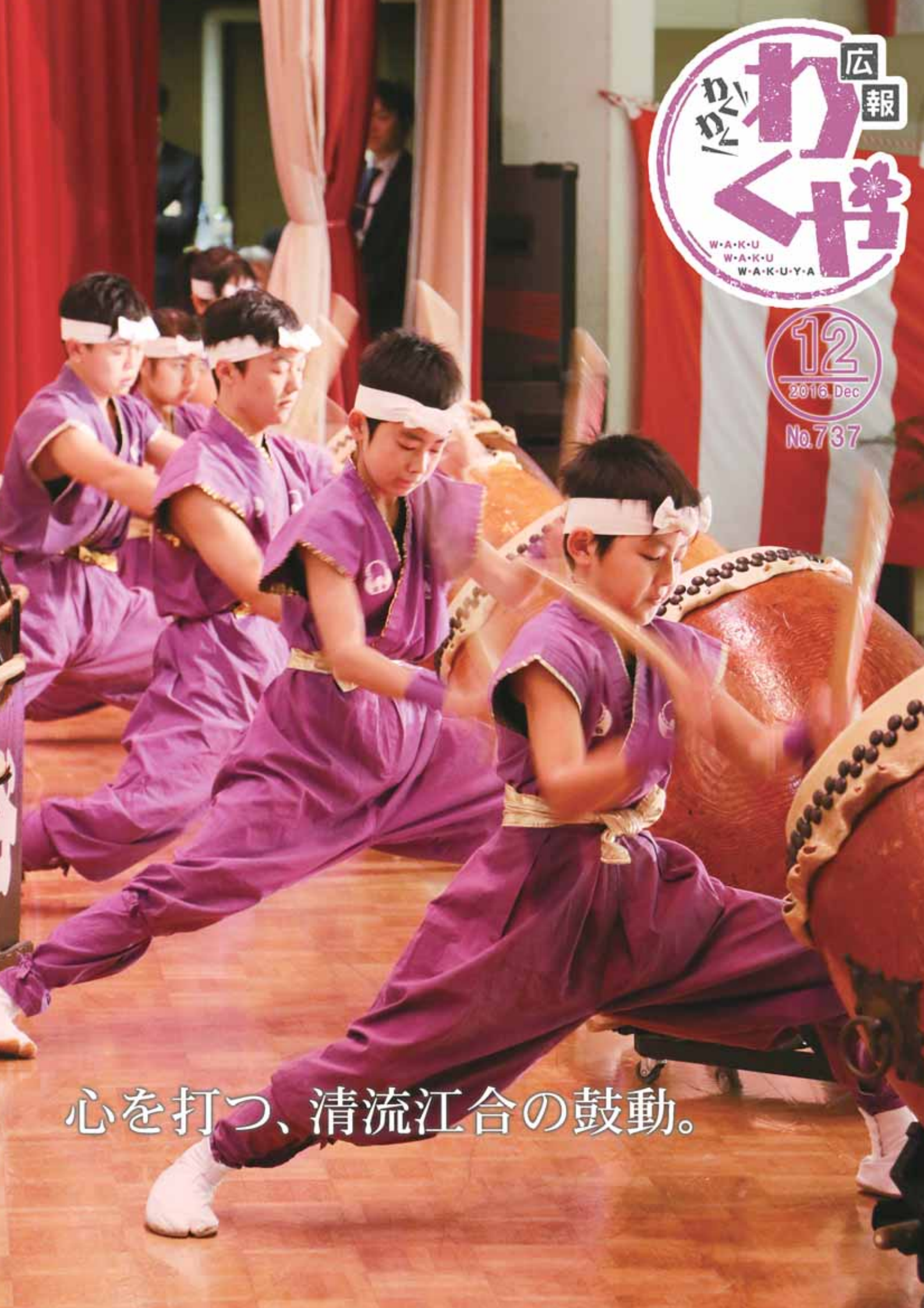




12
2016 Dec
No.737



心を打つ、清流江合の鼓動。

第1回目から出場し続けた悲願の優勝

秋の山唄

11月12日(土)13日(日)の2日間、第32回秋の山唄全国大会が行われ、少年少女の部21人、寿年の部58人、一般の部85人が、北は北海道、南は静岡県と各地からエントリーされ、自慢の唄声を披露し競い合いました。



第32回の一般の部で優勝されたのは、七ヶ浜町から出場した氏家速雄さん。氏家さんは、第1回大会から出場し続け、第27回大会寿年の部で優勝。そして、28回目の出場となる今回、一般の部で優勝を勝ち取りました。表彰式終了後、箕岳山笠峯寺に移動し、観音堂の前で、夕焼けに照らされながら山唄を奉納。見事な唄声が箕岳山に響き渡りました。

準優勝には大衡村から出場された伊藤慶一さんが、第3位には岩沼市から出場された高橋優里香さんが入賞。一般の部に先立ち前日に開催された少年少女の部では、塩竈市から出場の鈴木怜菜さんが大人顔負けのすばらしい唄声を披露し、優勝。寿年の部では、第27回大会の一般の部で優勝された山形県長井市から出場の町田忠雄さんが優勝されました。



①優勝を勝ち取り会心の笑みを浮かべながら歌いあげる氏家速雄さん②準優勝の伊藤慶一さん③第3位の高橋優里香さん④寿年の部で優勝した町田忠雄さん⑤少年少女の部で優勝した鈴木怜菜さん

秋

の山唄全国大会の見ど
ころは、篁峯寺におい
ての奉納や決選会だけではあ
りません。

大会の合間に行われるアト
ラクションでは、浦谷町内で
伝統芸能を後世に受け継いで
いくために日々活動している
団体の皆さんが、日頃の成果
を披露しました。

篁岳白山豊年踊りは、篁峯
寺の白山堂で行われていた種
もみ交換の際に踊られていた
「種まき神楽」を大谷地地区
の有志が復活させたものです。
現在は、旧篁岳中学校の卒業
生や浦谷中学校の生徒を加え
て保存会を新たにし、継承に
取り組んでいます。この踊り
は、田起こしや種まき、田植
え、稲刈りなどの昔の稲作を
表現。最後に五穀豊穰、家内
安全、厄払いを祈願して獅子
舞の奉納を行うものです。こ
の日も、若々しいエネルギー
をほとばしらせながら、舞台
狭しと舞いました。

浦谷お茶屋節保存会では、
「浦谷お茶屋節」と「浦谷音
頭」「秋の山唄踊り」を披露。
地域の伝統文化を学び、地域
との交流を大切にしてきた月
将館小学校の児童の皆さんを
加え、華麗に踊りを披露しま

した。

浦谷太鼓は、昭和59年秋に、
伊達安芸宗重公の居城の城山
公園内にある太鼓堂に、大太
鼓1基の寄贈を受けたことを
きっかけに昭和60年春、子ど
もを中心とした構成で結成さ
れたものです。以来、歴史あ
る町も新しく築き上げる伝承
芸能の担い手となるべく活動
を続けてきました。浦谷町を
流れる江合川を表現した「清
流江合太鼓」をはじめとして、
さまざまな大会で入賞する実
力を、勇壮なばちさばきで披
露しました。

また、アトラクション以外
にも見どころがありました。
少年少女の部のトップパツ
ター登場したのは、多賀城市
からエントリーした吉田和奏
ちゃん。その年齢はなんと4
歳。小さな身体ではありません
が、4歳児とは思えないきび
きびとした仔草で登場し、堂々
と山唄を唄い上げ、会場を和
ませました。

また、昨年に引き続き浦谷
町黄金大使の大和優雅監督の
「民謡ガール育成プロジェクト」
の堀内みのりさんが東京
都から出場。残念ながら予選
敗退となりましたが、昨年か
らの進化を披露しました。



⑥ 篁岳白山豊年踊りのクライマックス「獅子舞奉納」 勇猛な獅子をとときに勇ましく、ときに愉快地に操ります⑦ 会場内に響き渡る浦谷太鼓の勇壮な音色⑧ 大太鼓のかけ声に合わせて動きが激しくなる田植え・稲刈りの所作⑨ 着物をまとい浦谷の歴史と伝統を背負い舞う児童の皆さん⑩ 小さな身体で一生懸命唄う姿が会場を和ませました⑪ 来年こそは予選突破していただきたい「民謡ガール」堀内みのりさん



大規模災害時の備えとして

涌谷町社会福祉協議会と協定締結

10月18日(火)に、涌谷町と涌谷町社会福祉協議会とで大雨などによる水害時に、ゆうらいふを利用する要支援者を涌谷町町民医療福祉センター内の老健施設で受け入れ支援をする協定を締結しました。

この協定は、平成27年9月11日の東北・関東豪雨災害での経験を踏まえて、大雨による河川の決壊や内水による災害が発生する前の「避難準備情報」が発令された時点で、健常者の3〜4倍避難に時間がかかる要支援者が、生命を守るために、迅速に避難行動をとれるようにするための備えとなります。



写真) 協定締結後握手する青沼センター長(左)と小野寺会長(右)

長年にわたる消防団活動に対して

横山武彦氏に叙勲

11月4日(金)に仙台市の江陽グランドホテルにおいて平成28年秋の叙勲伝達式が執り行われ、前消防団長の横山武彦氏が瑞宝双光章を受章されました。

横山氏は、56年の長きにわたって消防団員として活躍され、消防団長としても涌谷町民の生命と財産を守るため、積極的な火災予防活動をはじめ、水防活動などに尽力されました。

その功績が認められ、このたびの受章となりました。誠にありがとうございました。



写真) 勲章を胸に受章報告に訪れた横山武彦氏(右)

芸術に彩られた涌谷の秋

第40回町民文化祭

11月2日(水)、3日(木)の2日間、涌谷公民館を会場に、第40回町民文化祭が開催されました。

会場内には所狭しと涌谷町内で日々活動している文化芸術団体・個人の作品をはじめとし、小・中学校の児童生徒の作品が展示されました。

また、ステージでは「麓岳白山豊年踊り」や「お茶屋節踊り」などの伝統芸能のほか、「オカリナ」や「ダンス」などのサークル活動の成果が披露されました。

そして、それぞれの作品やステージ発表を楽しみに多くの町民が訪れ、深まる涌谷の芸術の秋のひとつときを楽しみました。



写真) 今年もステージで躍動する麓岳白山豊年踊り保存会の皆さん

自治宝くじコミュニティ助成事業

上小塚行政区自治会が受託

上小塚行政区自治会に防災備品が自治宝くじコミュニティ助成金によって整備されました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業です。住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの社会貢献を目的として行われています。

今回の整備によって防災意識が向上するとともに、上小塚地区の防災訓練において、防災能力の向上に向けたより高度な訓練の実施が期待されます。



写真) 追戸横穴古墳公園の敷地内に設置された防災資機材倉庫

浦谷町生薬まちづくりの会活動報告

薬膳料理で乾燥する秋に潤いを

10月27日(木)に、町民医療福祉センター栄養指導室において、浦谷町生薬まちづくりの会の皆さんによる薬膳料理講習会が開催されました。

今回は、乾燥し始める秋に、潤いを与えてくれる旬の食材を使った次のメニューが作られました。「黒米と黒豆のご飯」・「鮭の山路焼き」・「小ねぎともやしのナムル」・「白菜とベーコンのスープ」・「季節の果物(なしと大棗のワイン煮)」。

高血圧の人が多い浦谷町向けに、減塩しているものの、生姜などの薬味を効かせた味わい深いものとなりました。



写真) ふわっとした長芋をのせ焼き上げられた「山路焼き」が絶妙

親になるための準備

親のみちしるべ講座を浦谷高校で開催

10月7日(金)に、浦谷高校において、親となるためのワークショップ「宮城県版親の学びのプログラム 親のみちしるべ」が開かれました。

1年生114人がグループワークを通じ、自分を育てた親の気持ちや将来子どもが生まれた際の接し方について考えました。

講師は、県教育庁社会教育推進班と県家庭教育支援チーム員、浦谷町家庭教育支援チーム員計約20人。各グループ6〜7人に分かれた生徒たちは、ワークシートに自身の命名の由来や人生の節目となった出来事などを記入し意見交換を行いました。



写真) 少子化社会の現在、高校生が考える子育てとは

しろやま さん 城山の金さん徒然日記

ゆるキャラグランプリ、大惨敗

この秋に開催されておったゆるキャラグランプリ2016に、わしも出場しておったのじゃが、全体1421位中848位(宮城県内22位中18位)と非常に残念な結果になってしまった。

今回の大惨敗をしっかりと分析し、来年の出場に向けてしっかりと戦略を立ててまいるぞ。

宮城県内には、自治体を挙げてゆるキャラグランプリの上位進出を目指して取り組み、実際に上位進出を果たしているところもあるようじゃ。

ゆるキャラ戦国時代に生き残り、しっかりと浦谷をPRしてまいる所存じゃ。



写真) 非常に残念な結果で真っ白に燃え尽きてしまった金さん

子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告

ドキドキのハロウィンパーティー開催

10月30日(日)に、研修館において、恒例となっている『ハロウィンパーティー』を開催しました。

衣装した子どもたちを魔女に仮装したスタッフが迎えをしてパーティーがスタート。トリック・オア・トリートと言ってお菓子をもらう子どもたちからはドキドキとワクワクが伝わってきました。

リズム遊びやゲーム、紙コップを使った工作をした後は、みんなでおハロウィンランチ。カボチャを使ったパンとスープ、ハックルベリーのプリンなど美味しく頂きました。



写真) 思い思いの仮装で楽しい時間を過ごしました!

国民年金のお知らせ
保険料の後払い(追納)をお勧めします!
 老齢基礎年金の年金額を計算するときに、保険料の免除や猶予の承認を受けた期間がある場合は、保険料を全額納付した場合と比べて年金額が低額となります。

しかし、免除などの承認を受けた期間の保険料は、後から納付(追納)することで、老齢基礎年金の年金額を増やせます。可能な方は、追納をお勧めします。

1 追納は、申込みが必要
 年金事務所でも申し込み、厚生労働大臣の承認を受けた上で納付書をお渡しします。口座振替・クレジット支払いはできません。納付書でお支払いしていただきます。

2 追納に関する注意事項
 ①追納できるのは、追納が承認された月の前10年以内の免除等期間に限られています。
 ②承認された期間のうち、原則古い順から納付していただきます。

③保険料の免除もしくは納付猶予を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降に保険料を追納する場合は、承認を受けた当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乘せされますので、お早目の追納をお勧めします。

▼問い合わせ先 町民生活課
 町民生活班 ☎44-2898
 古川年金事務所国民年金課
 ☎23-1203

毎年1月1日の状況が基準
家屋を取り壊したときは
 家屋に対する固定資産税は、

毎年1月1日の状況に基づいて課税されます。

年の途中で取り壊し等された家屋は、床面積の大小にかかわらず税務課税務班へ届出をお願いします。

届出がないと、引き続き課税され、翌年度の課税内容に影響があります。忘れずに届けましょう。

なお、登記されている建物で「滅失登記」を行った場合は届出の必要はありません。

▼問い合わせ先 税務課税務班
 ☎43-2114

人権問題の相談を受け

第68回人権週間

世界人権宣言が採択された翌年の昭和24年から、12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。人権尊重思想

の普及高揚のため、啓発活動を全国的に展開します。

この週間にちなんで次のとおり行事を催します。特設人権相談所では、人権擁護委員がご相談をお受けします。相談は無料で、秘密厳守。家庭内の悩みことやいじめ、パワーハラスメントなど、さまざまな人権問題でお困りの方は、どうぞご利用ください。

▼特設相談
 ●日時 12月6日(火) 10時~15時
 ●場所 役場2階大会議室

▼啓発活動
 ●日時 12月6日(火) 11時~11時30分
 ●場所 イオンスーパーセンター

▼その他
 ●日時 12月1日(木)~31日(土)の期間中
 ●場所 ター涌谷店

の湯」で、第一小学校の児童が制作した「人権イラストポスター」応募作品を展示します。ぜひご覧ください。

▼問い合わせ先 町民生活課
 町民生活班 ☎43-2113

全国中学生人権作文コンテスト
宮城県大会表彰式及び作品発表会開催
 ▼日時 12月5日(月) 12時40分
 ▼場所 仙台市福祉プラザ2階ふれあいホール

▼入場料 無料
 ▼内容
 ●第一部 表彰式・優秀作品発表会
 ●第二部 仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサート

▼問い合わせ先 町民生活課
 町民生活班 ☎43-2113

くらしの環境 豆知識

【幹事さん必見!「宴会五箇条」】

涌谷町では、「全国おいしい食べ盛り運動ネットワーク協議会」に参加しています。これは食べられるにも関わらず廃棄される食品をなくそうという「食品ロス削減」に取り組むものです。

そこで、これから年末に向けて増える宴会の席で皆さんに実行してほしい

「宴会五箇条」を紹介します。特に幹事さんは必見です!

「もったいない」の気持ちで、ごみの量と処分費用を減らし、温室効果ガスも減らします。みんなでごみを減らしましょう!

【宴会五箇条】

その一 出席者の性別や年齢などを店に伝え、適量注文に心がけましょう。
 その二 酒宴の席では、開始30分、終了10分など、席を立たずにしっかり食べる時間を作りましょう。
 その三 料理がたぐさん残っているテーブルから、少ないテーブルへ料理を分けましょう。

その四 幹事さんや司会者の方は、宴会中に「食べ残しのないようー!」の声をかけましょう。
 その五 食中毒の危険のない料理を持ち帰り用として折り詰めで注文するなど、食べ残しがない注文の工夫をしましょう。

▼問い合わせ先

町民生活課町民生活班 ☎43-2113